

## 【サイクルOL大会開催要項】

第26回県民総合体育大会サイクルスポーツ大会（サイクルオリエンテーリング大会）を下記の通り開催します。

期 日 平成26年11月9日（日）※雨天決行

集 合 埼玉県浦和合同庁舎

会 場 さいたま市周辺

日 程 受付9:00～9:30 開会式9:30 競技開始10:00 閉会式15:00

競技方法 フリーポイント マスターマップ方式 パンチチェック

地 図 国土地理院1:50,000 大宮

参加資格 読図力があり、自分の責任においてサイクリングのできる者

参加費 1,000円（地図、保険代、飲物他）

ク ラ ス	部 門	資 格	距 離	チェックポイント
M N	ジュニアの部	15歳以上の男子	約33km	8ポイント
M18B	一般の部	18歳以上の男子	約42km	10ポイント
M40B	シニアの部	40歳以上の男子	約38km	10ポイント
W N	女子の部	15歳以上の女子	約33km	8ポイント
トリム	グループの部	中学生以上	約25km	6ポイント

表 彰 1～3位、1位のみトロフィー ※トロフィーは持回り

申 込 参加共通申込用紙に必要事項を記入し郵便振替か郵便小為替（現金書留による受付は行いません）にて協会まで。\*小為替には受取人名等は書かないこと

郵便振替 00170-8-56228

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎別館 埼玉県サイクリング協会

締 切 平成26年10月23日（木）

注 意 ①工具・昼食・保険証・手袋他。

②整備された自転車（ライト・リフレクター・ベル装備）で参加して下さい。

③赤鉛筆又は赤ボールペンを忘れずに。

そ の 他 県民以外の方は表彰対象となりませんが、参加はできます。

### < 留 意 事 項 >

(1) 個人走行以外は、表彰対象にはなりません。

(2) 各クラスとも参加者が3名以下の場合は表彰対象となりません。

(3) 地図はスタート前に渡します。

(4) マスターマップを写す時間も、競技時間に含みます。

(5) スタートしたものは、必ずチェックカードをゴール係に提出しなければなりません。

(6) 喫煙は指定された場所以外は禁止します。またゴミは持ち帰りましょう。

(7) 大会運営上、支障あると認めたものは、参加受付をおこないません。

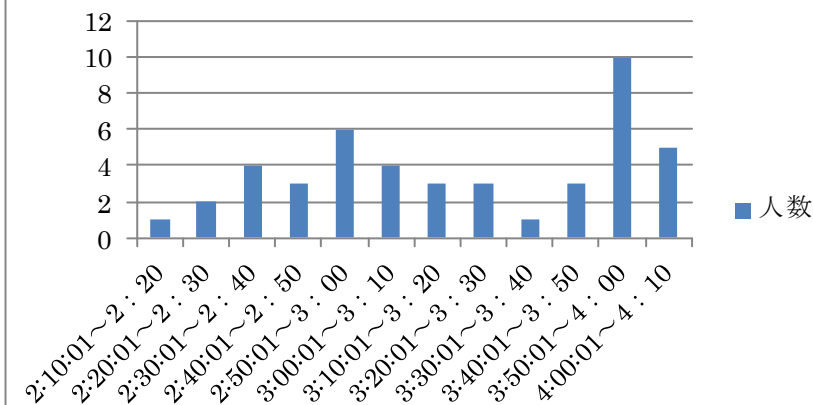
## ○第2回山岳サイクリング

第2回山岳サイクリングが8月3日、秩父ミュージズパークを主会場として開催され54名がエントリーした。合角ダムと浦山ダムを回ってくる約60kmのコースは、第1回に比べかなりハードなコースであった。ミュージズパークへの最後の登りは心臓破りの丘と呼ばれるように、かなりシンドかったようだ。13時16分には全員ゴールし、無事大会を終了した。

\*コース概要はルートラボに載っています。



### 所要時間帯



※	
エントリー者数	: 54名
参加受付者数	: 50名
欠席者数 (連絡有り)	: 1名
欠席者数 (連絡無し)	: 3名
欠席者数 (欠席計)	: 4名
不出走者数	: 1名
出走者数	: 49名
リタイヤ者数	: 4名
ゴール者数	: 45名
完走者数	: 45名
タイムアウト者数	: 0名

## ○第13回ハーフセンチュリー

恒例の大会が11月16日(日)、利根サイクリングセンターを主会場として開催されます。詳細は要項を参照。

## ○第50回関東甲信越サイクリングラリー埼玉大会

50回目を迎えた大会は9/20~21日、開催され関東甲信越から120名程が集まり比企丘陵でのサイクリングを楽しむ。夜は懇親会がホテルヘリテージで開催され、なお一層の交流を深める。

## ○埼玉サイクリングフェスティバル

平成26年埼玉サイクリングフェスティバルが熊谷ドームを主会場にして10月5日(日)開催される。今年は35km、65kmコースで1,500名の募集が行われている。協会から先導員として50名が手伝えることになっている。

## ○2014ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム

第2回目を迎えた大会は10月25日(土)さいたま新都心の特設会場で開催される。今年も市民体験走行が予定されていて、協会からも先導員として15名程度が手伝えることになっている。

## ○さいたま自転車総合利用計画

さいたま市が自転車総合利用計画の策定をはじめました。その第1歩として検討懇話会が設立されました。協会も役員として委嘱を受けました。とりあえず2年で大綱を作り上げ、5年計画で整備を進めることになる。

### 【事務局より】

■埼玉県、さいたま市が自転車関係事業を次々と立ち上げました。自転車環境づくりが進展していくことは大変良いことで、協会はサイクリストの立場から大いに意見を述べていきます。

### 《編集後記》

◆今年の異常気象は彼方こちらで災害を引き起こした。「今まで経験したことのない」という言葉が記者会見で連発された。南木曾、高知、広島といずれも土砂災害であった。埼玉は災害がないところと安心してた矢先に竜巻被害。この狭い日本はどこでも危険だらけ。少しでも被害を少なくするためには日頃の心がけが大切である。のど元過ぎれば・・・ではいけない。常に準備怠りなく！！